

朝日新聞デジタル > 記事

大学入学共通テスト 特集ページ >>

国立大受験生に「6教科8科目」案 「情報」を追加検討

有料会員記事

編集委員・氏岡真弓、同・増谷文生、伊藤和行 2021年5月23日 19時00分

シェア

ツイート
[list](#)

ブックマーク
104

スクラップ

メール

印刷



大学入学共通テストの会場で試験の開始を待つ受験生たち=2021年1月16日午前9時14分、東京都文京区の東京大学、伊藤進之介撮影

2025年の大学入学共通テストから、国立大学の受験生には原則として「6教科8科目」を課す——。国立大学協会の入試委員会（委員長=岡正朗・山口大学長）が、そんな案の検討を進めていることがわかった。従来の「5教科7科目」に、プログラミングなどを学ぶ教科「情報」を上乗せする案だ。

各国立大は大学入試センター試験時代の04年から、国語▽地歴・公民▽数学▽理科▽外国語の5教科から7科目を課すことを原則としてきた。これに情報を加えた6教科8科目を原則とすることが決まれば、21年ぶりの科目増となる。

情報は03年度から高校で全員が必ず履修する教科となり、22年度の高1から導入される新学習指導要領では情報Ⅰと情報Ⅱの2科目に再編される。プログラミングなどを学ぶ情報Ⅰが必ず履修する科目で、データサイエンスの手法を使った分析も学ぶ発展的な情報Ⅱは選択科目となっている。

政府は18年に公表した成長戦略のなかで「義務教育終了段階での高い理数能力を、文系・理系を問わず大学入学以降も伸ばしていけるよう、大学入学共通テストで基礎的な科目として情報Ⅰを追加する」との方向性を打ち出した。今年3月には、共通テストの問題作成を担う大学入試センターが、25年実施の共通テストから出題教科に情報を追加する方針を発表。出題範囲は情報Ⅰの内容とした。

国大協入試委の議論は、こうした流れのなかでスタートした。

一連の議論は非公開で行われており、関係者によると、共通テストで情報を使いたい大学も不要だとする大学も、それぞれ一定数あるという。今月18日のオンライン会議では、25年から6教科8科目にすることについて「生徒の学習環境がまだ整っていない」と反対する声も出た。だが、「国を挙げてデジタルと言っている時に入試に入れないのは違うという意見が多く、引き続き議論することになった」（関係者）という。国大協事務局は取材に「入試委の内容は非公開」と回答した。

大学入試をめぐるのは、「教科・科目の変更が大きな影響を及ぼす場合には、2年程度前には予告・公表する」という文部科学省の定めた「2年前ルール」がある。国大協入試委が「25年の共通テストから6教科8科目を原則とする」と決めた場合、各大学はそれを踏まえ、遅くとも22年度にはそれぞれの大学の方針を正式に決めることになりそうだ。

「『第三の失敗』にならないよう」

情報を教える態勢は地域によって差があり、各地で教員の確保が急務となっている。

文科省が47都道府県と、高校を設置していない神奈川県相模原市を除く19政令指定都市を対象に実施した調査では、昨年5月1日時点で、情報担当教員5072人のうち2割以上の1233人が、情報免許状保有教員ではなく、校内の他教科の教員が1年以内に限り教えられる「免許外教科担任」や「臨時免許状」を持つ教員だった。

これまで情報は、「情報の科学」「社会と情報」のうち1科目を必ず履修する形で、プログラミングを学ぶ「情報の科学」を選ぶ生徒は約2割だった。だ

が新指導要領のもとでは、全員が情報Ⅰでプログラミングを学ぶことになる。ある公立高校の教員は「いまのままだと教員が不足し、新指導要領の内容をきちんと教えることができない学校が出る恐れがある」と話す。

それだけに、そもそも共通テストで情報Ⅰの内容を出題すること自体に慎重な検討を求める声も根強い。全国高等学校長協会は昨年11月、大学入試センターに「出題科目とするには解決すべき事項が多い」として「課題を解決した上での実施」を要望した。

大学関係者の間でも意見は一樣ではない。情報処理学会の理事で、情報教育に力を入れてきた中山泰一・電気通信大教授は「情報Ⅰは文理問わず身につけるべき内容。国立大はぜひ課すべきだ」。一方、国立大教員の一人は「学習環境が整わず地域間格差も大きい現状のまま、国立大受験生に課するのは難しい」と語る。

大学入試をめぐるのは近年、目玉改革が相次いで頓挫した。共通テストでの英語民間試験の活用が19年11月、受験生の住む地域や家庭の経済状況による格差の問題から見送りに。さらに共通テストの国語と数学での記述式導入も翌月、採点の質の確保などの課題が解消し切れず見送られ、受験生や高校を混乱させた。

ある県立高校の教員は「6教科8科目への移行が『第3の失敗』にならないよう、受験生の立場に立って検討してほしい」と話す。（編集委員・氏岡真弓、同・増谷文生、伊藤和行）



〈教科「情報」〉2022年度の高1から適用される新学習指導要領では、プログラミングも行う情報Ⅰ（必ず全員が履修する科目）、発展的な情報Ⅱ（選択科目）に再編された。情報Ⅰは、「情報社会の問題解決」「コミュニケーションと情報デザイン」「コンピュータとプログラミング」「情報通信ネットワークとデータの活用」の4領域からなる。すべての生徒がプログラミング、ネットワーク（情報セキュリティを含む）やデータベース（データ活用）の基礎などを学ぶことになる。

【大学入学共通テストへの「情報」導入をめぐる主な動き】

2018年3月 文部科学省、22年度からの高校の新学習指導要領を告示。教科「情報」は情報Ⅰと情報Ⅱの2科目に再編

6月 政府が「未来投資戦略2018」を公表。「大学入学共通テストで基礎的な科目として情報Ⅰを追加」

19年11月 共通テストでの英語民間試験の活用見送り

12月 共通テストの国語と数学での記述式問題導入も見送り

20年4月 小学校でプログラミング教育 開始

21年1月 第1回共通テスト

3月 大学入試センター、25年の共通テストから情報を出題する方針を表明

22年4月 高校の新学習指導要領スタート

25年 新学習指導要領に基づく共通テスト実施（国立大受験生は6教科8科目受験が原則に？）



大学入学共通テストのニュースはこちら →

最新ニュース、時間割、受験生応援企画などをお届け。試験当日は問題と解答を速報します。[[記事一覧へ](#)]